

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部1年 2部2年	社会福祉	阿部 仁	
サブタイトル	社会福祉の基礎的知識を身につける	単 位 数	2
授業形態	講義	出席要件	4 / 5 以上
開講時期	前期		
到 達 目 標			
<p>本科目の到達目標は次の2点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育学生として身につけなければならない社会福祉全般に関わる基礎的知識の獲得。 保育学生にとって中核となる「子ども家庭福祉」の領域と「貧困と福祉」、「高齢者福祉」、「障害児・者福祉」、「地域福祉」等の領域がどのように関わっているかを学ぶ。</li> <li>2. 「社会福祉とは何か」という問いに答えられる自分なりの社会福祉観の形成。 社会福祉の定義、対象、歴史、組織、動向等から基本的用語の使い方やデータの読み取りを学ぶ。 社会福祉と自分との関わりを理解する。</li> </ol>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>本科目は、とくに保育士資格取得に関する基本的教科のひとつとして「専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」を目指す。 保育士資格に関連する法的体系、保育士資格取得後に勤務可能な保育所、各種児童福祉施設の実態を学ぶ。</p>			
授 業 の 方 法			
<p>講義形式の授業形態を基本とする。 場合によっては遠隔授業もある。 基本的な用語を獲得するために、授業シートを用いて振り返りを行う。 授業に主体的な参加を行うために、アクティブ・ラーニングの手法をおり込んだ授業方法を取り入れる。</p>			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト：『新 社会福祉とは何か（第4版）』大久保秀子 中央法規 2022年 教 材：新聞記事やデータ等の配布資料、ビデオ等視聴覚教材を活用する。 参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017年 授業内で、適宜参考文献を紹介する。</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
1. 授業内で数回課題を設定し、レポート提出を求める		定期試験	60%
2. 受講記録としてのノート提出		レポート	20%
3. 授業への取り組み姿勢・貢献度		ノート	10%
4. 定期試験		授業への取り組み	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<p>日常的に、社会福祉関連の情報に留意すること。 定期試験は持ち込み不可で論述式の問題とする。 メール <a href="mailto:abehit@wa.seitoku.ac.jp">abehit@wa.seitoku.ac.jp</a></p>			



